

三菱系プレミアムセミナー

AGC株式会社（5201）



AGC株式会社

Your Dreams, Our Challenge

代表取締役 兼 副社長執行役員
CFO、CCO

宮地 伸二



- 1990年** 当社入社
- 2006年** A G Cエレクトロニクス社 プレジデント& C E O
- 2008年** 新事業推進センター長
- 2010年** 執行役員社長室経営企画グループリーダー
- 2011年** Harvard Business School AMP 修了
- 2012年** 執行役員 A G C フラットガラス・ノースアメリカ社
シニアバイスプレジデント
- 2013年** 執行役員ガラスカンパニー北米事業本部長
兼 A G C フラットガラス・ノースアメリカ社 プレジデント& C E O
- 2014年** 執行役員電子カンパニーエレクトロニクス事業本部長
- 2015年** 取締役兼常務執行役員 C F O、経営企画部長
- 2018年** 代表取締役兼専務執行役員 C F O、C C O
- 2020年** 代表取締役兼副社長執行役員 C F O、C C O

1. 会社概要	_____	P.04
2. 成長戦略	_____	P.16
3. 業績および株主還元	_____	P.37
4. 参考情報	_____	P.50

1. 会社概要

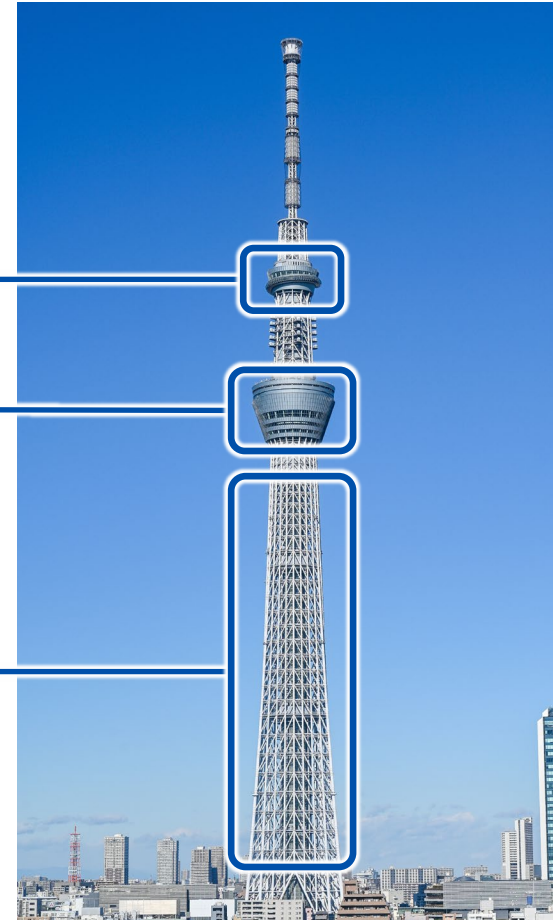
身近にあるAGC製品（構造物）

- 東京スカイツリー®には、AGCの特殊なガラス、塗料が使われている

高さ約450mに位置する
展望台「展望回廊」の窓

地上まで見下ろすことができる
展望デッキの「ガラス床」

外部の鉄骨部分の塗料
塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」
を原料にした塗料



身近にあるAGC製品（自動車/テレビ/スマホ）

自動車

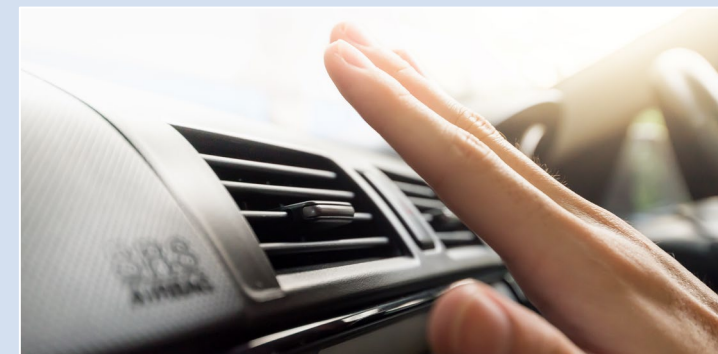
AGC製品：自動車用ガラス



AGC製品：車載ディスプレイ用カバーガラス



AGC製品：空調冷媒



TV・PC等ディスプレイ

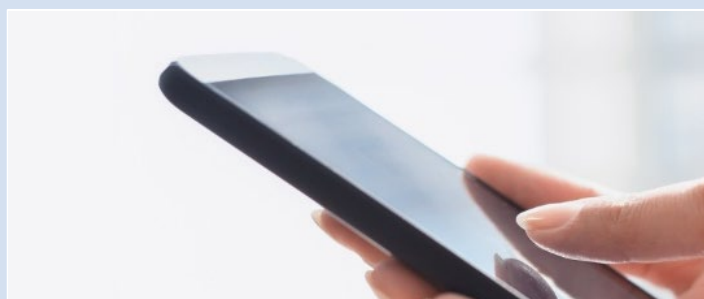
AGC製品：ガラス基板



スマホ

AGC製品：カバーガラス

★本日、展示スペースに強度を体験できる装置を設置



スマホ

AGC製品：カメラの赤外線カットフィルター



身近にあるAGC製品（水道・医療・農業関連）

飲料水用消毒剤

AGC製品：次亜塩素酸ソーダ



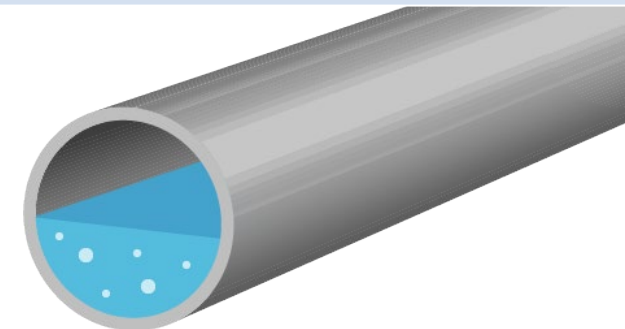
人工透析用輸液

AGC製品：重曹



水道管

AGC製品：塩化ビニル樹脂



医薬品

AGC製品：中間体・原体



農薬

AGC製品：中間体・原体



1907年（明治40年）岩崎俊彌が旭硝子創業



創業の精神

“易きになじまず難きにつく”

『人がやっていない事業は他にいくらでもあるが、やる以上は国のためになること、この国に暮らす人のためになることをやり遂げたい。それが私にとっての板ガラスの製造だ。』

1917年、日本初のソーダ灰製造開始

- 第一次世界大戦により、化学製品の輸入が困難に
- 板ガラスの原料であるソーダ灰の製造方法を独自開発し、事業化



北九州牧山工場でソーダ灰製造開始



製品・サービスの時代変遷

■ 創業の精神を体現し、それぞれの時代が求める素材・ソリューションを提供し続けてきた



建設ラッシュ
(日本)

第一次
世界大戦



モータリゼーション・
テレビ時代の到来



環境・健康への
意識の高まり



バイオテクノロジーの
発展



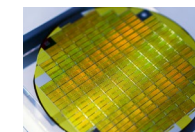
デジタル・通信
技術の進化



創薬モダリティの
多様化



IoT時代の
本格到来



次世代半導体・
高速通信

1907年

1910年代

1950年代

1970年代

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代



旭硝子創業
建築用板ガラス

ガラス溶解窯用
耐火煉瓦
(セラミックス事業へ)



ガラス原料用
ソーダ灰
(化学品事業へ)



自動車用ガラス



TVブラウン管用
ガラスバルブ



苛性ソーダ製造用
イオン交換膜



合成医薬中間体



液晶ディスプレイ用
無アルカリガラス



オゾン層を破壊しない
代替フロン



デジタルカメラ用
色調補正
ガラスフィルター



バイオ医薬品CDMO



半導体プロセス用
CMPスラリー



車載ディスプレイ用
カバーガラス



スマートフォン用
化学強化ガラス



低GWP
環境対応型溶剤

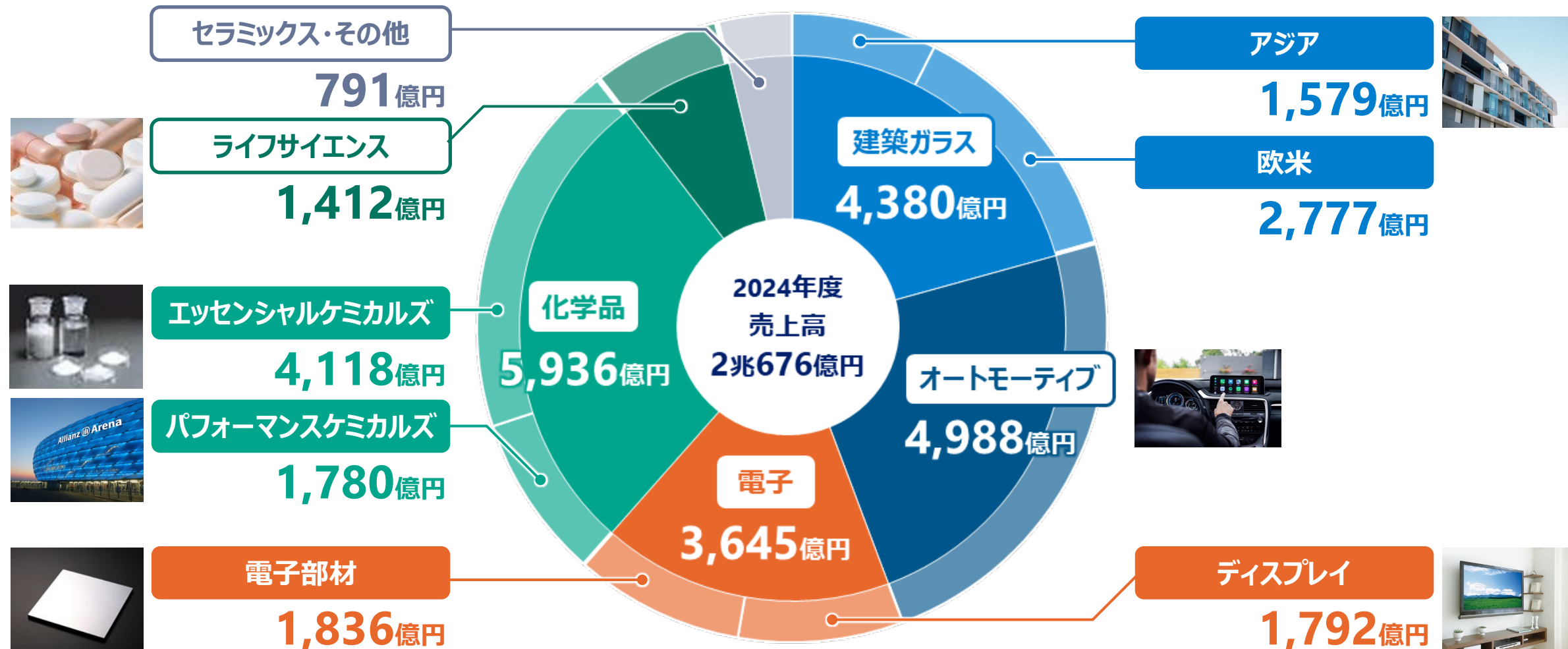


EUV露光用フォト
マスクブランク



窓を基地局化する
ガラスアンテナ

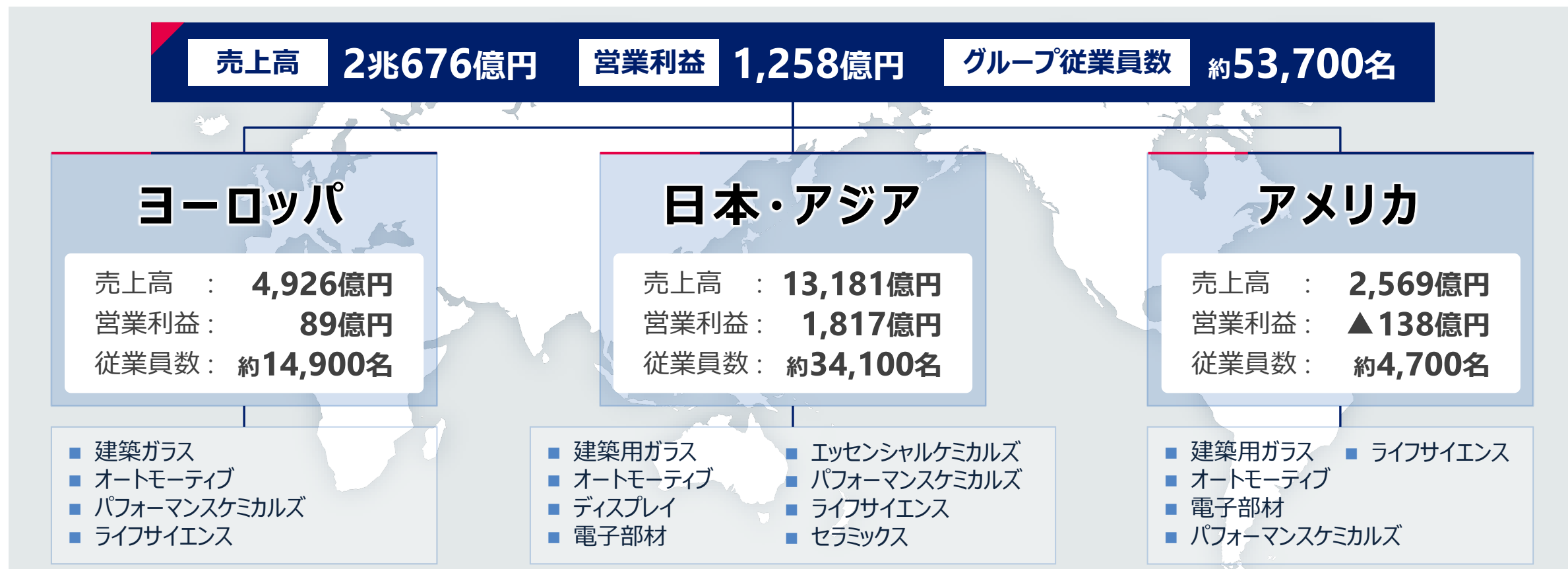
事業セグメント展開



※各セグメントの売上高は消去前の数字であるため、セグメント売上高の合計は全社売上高とは一致しません。また、サブセグメント売上高は、外部顧客に対する売上高を使用しています。

■ 30を超える国と地域で事業を展開

(2024年12月期)



※ アメリカは北米および中南米を含む

※地域別売上及び利益は、消去、地域共通費用控除前の数字であるため、各地域別売上及び利益の合計は全社売上及び利益とは一致しません

世界トップクラスのシェアを持つ主な製品

	建築ガラス	オートモーティブ	電子	化学品	ライフサイエンス
コア事業	 フロート板ガラス 欧州/日本 等 ^{*1} トップシェア^{*2}	 自動車用ガラス 世界トップシェア^{*3}	 TFT液晶/ 有機EL用 ガラス基板 世界 No.2^{*3}	 苛性ソーダ 塩化ビニル 樹脂 ◀ 原料となる塩の山 東南アジア No.1^{*2}	
戦略事業		 車載 ディスプレイ用 カバーガラス 世界トップシェア^{*3}	 EUV露光用 フォトマスク ブランク 世界 No.2^{*3}	 ETFE樹脂 (フッ素樹脂) 世界 No.1^{*3}	 Ex vivo 遺伝子治療薬 開発・製造受託 案件数 世界 No.1^{*4}

*1：欧州（除くロシア）・南米・東南アジア・日本/当社調べ

*2：生産能力ベース/当社調べ

*3：販売ベース/当社調べ

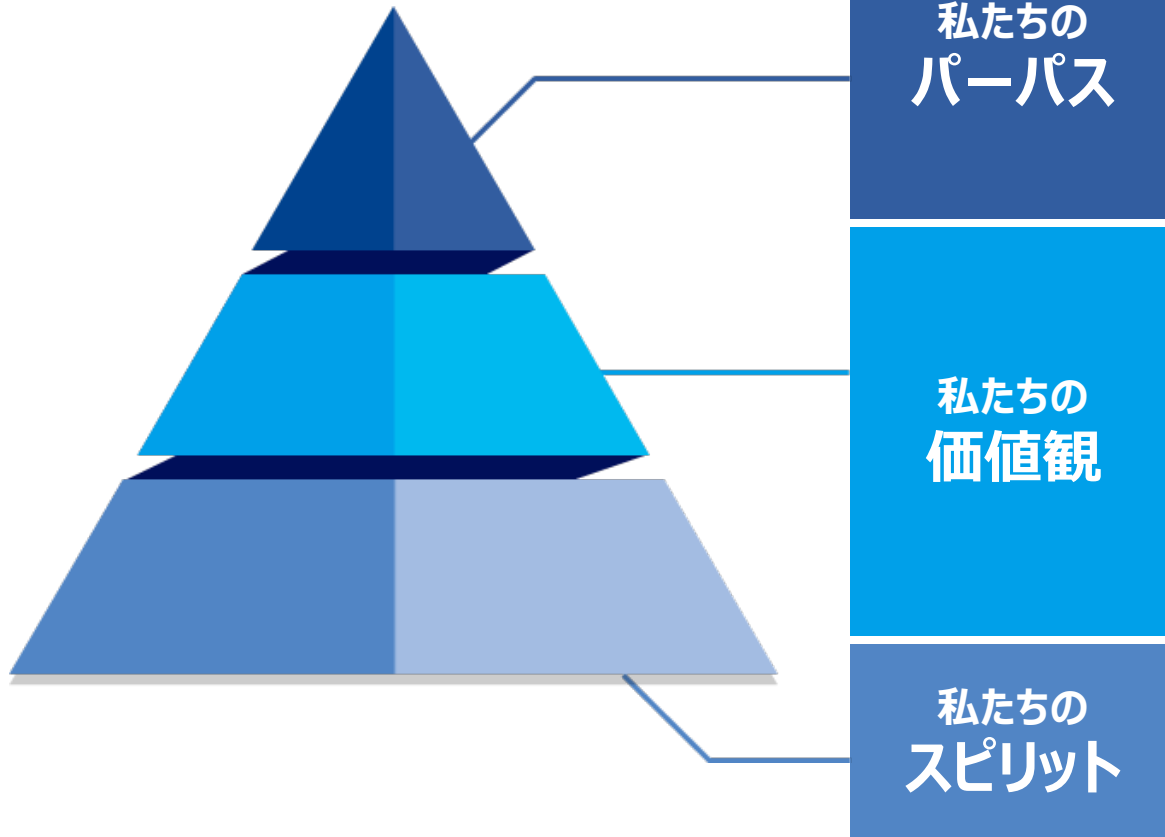
*4：商用品目数ベース/当社調べ

AGCの特徴・強み

- 創業から118年、それぞれの時代が求める素材・ソリューションを提供し続けてきた
- 売上高は2兆円超、30を超える国・地域で事業を展開
- ガラス・化学およびそれらを組み合わせた先端技術を駆使し、グローバルで高いマーケットシェアを持つ製品群を保有

2. 成長戦略

“Look Beyond”



“AGC、いつも世界の大事な一部”

～ 私たちは先を見据え、独自の素材・ソリューションで、
いつもどこかで世界中の人々の暮らしを支えます～

- Innovation & Operational Excellence
- Sustainability for a Blue Planet
- One Team with Diversity
- Integrity & Trust

“易きになじまず難きにつく”

AGCグループの価値創造に向けた中長期の取り組み

2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

コーポレート・ トランスフォーメーション 第一章

既存事業を「コア事業」、
成長分野での新事業群を
「戦略事業」と定義し、
両利きの経営を推進

コーポレート・ トランスフォーメーション 第二章

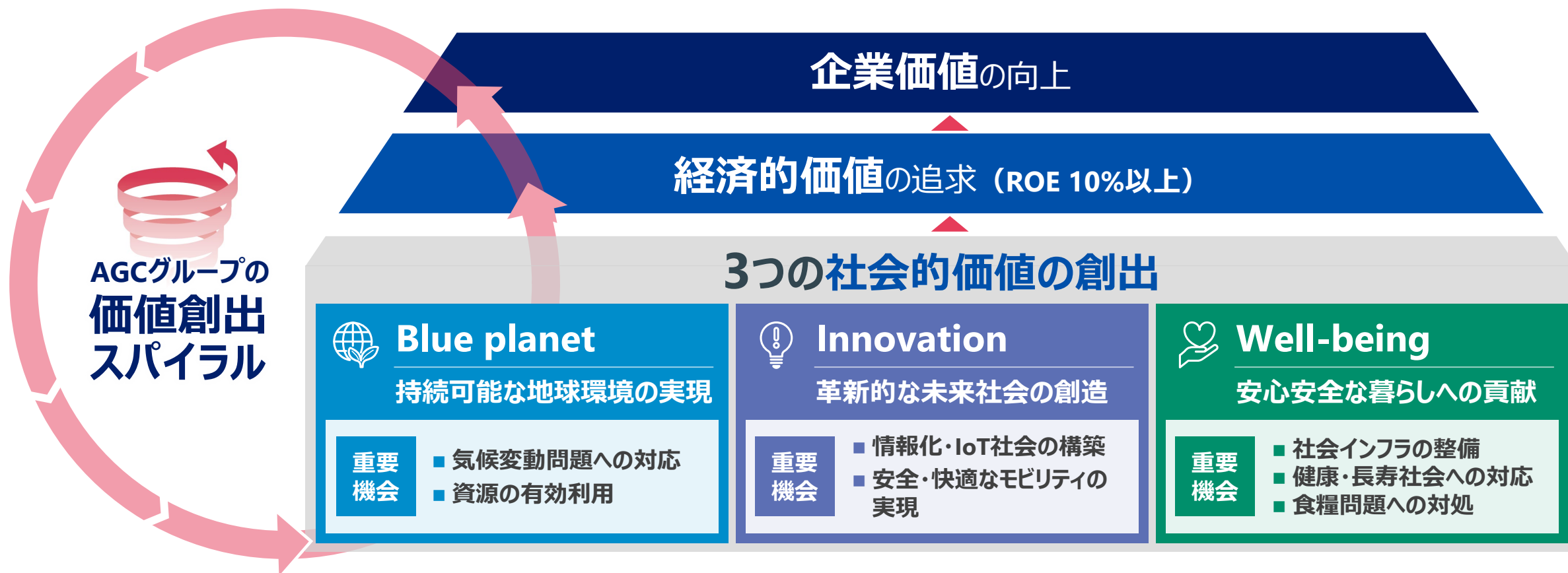
事業ポートフォリオ改革の
方向性を明確にし、
さらに加速することを宣言

2030年のありたい姿

独自の素材・ソリューションの
提供を通じて**サステナブルな**
社会の実現に貢献するとともに
継続的に成長・進化する
エクセレントカンパニーでありたい

AGCグループの価値創出スパイラル

- AGCグループは、社会的価値の創出を通じ経済的価値を追求し、企業価値の向上のスパイラルを実現します





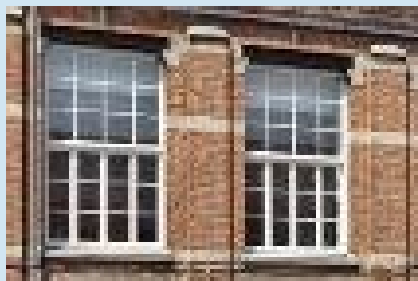
Blue planet

持続可能な地球環境の実現

原料の調達からお客様の使用に至るまでの環境負荷を低減することで、すべての生命がよりどころとする地球の持続可能性に貢献します。

省エネガラス

(断熱ガラス・複層ガラス)



超断熱セラミックス



次世代
領域

環境&エネルギー

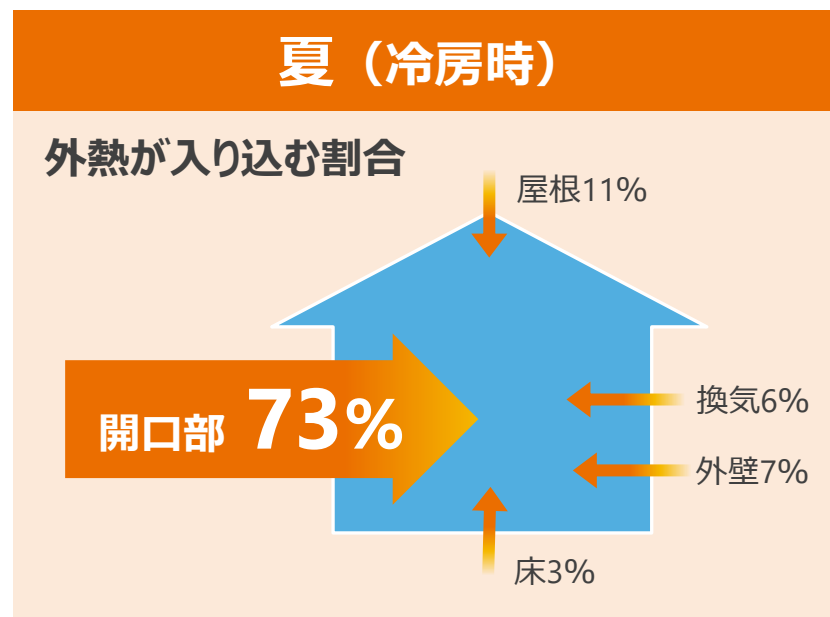
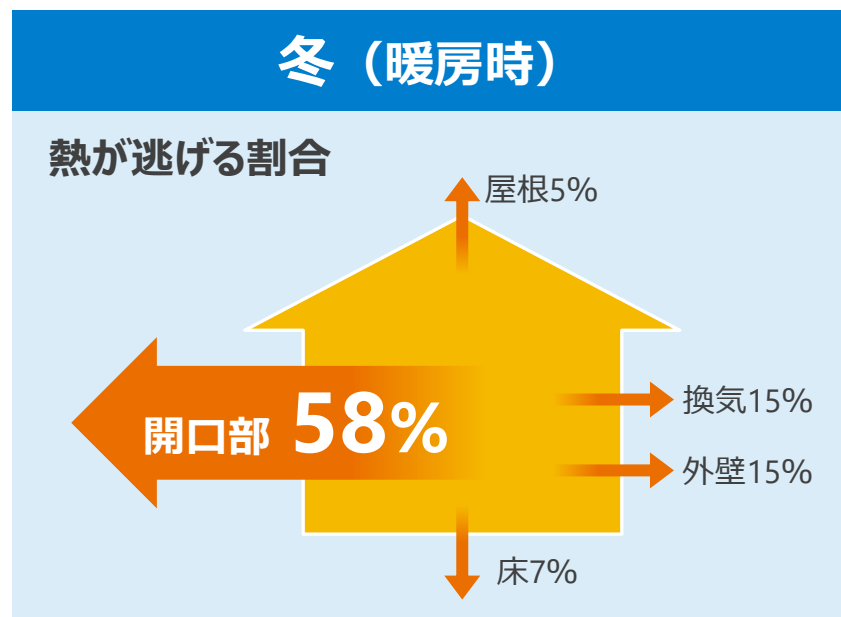
(水素関連/蓄電部材)





- 脱炭素への取り組みにおいて、建物におけるエネルギー消費効率の向上が課題
- 省エネガラスの遮熱・断熱機能は、課題解決の鍵として注目されている

住宅における熱移動*



熱移動の主要因である
**開口部（窓）の
遮熱・断熱性能の
向上が鍵**



- 今後も断熱性能のより高い製品を開発・販売、更なる向上に取り組み、建物のCO₂排出量削減に貢献

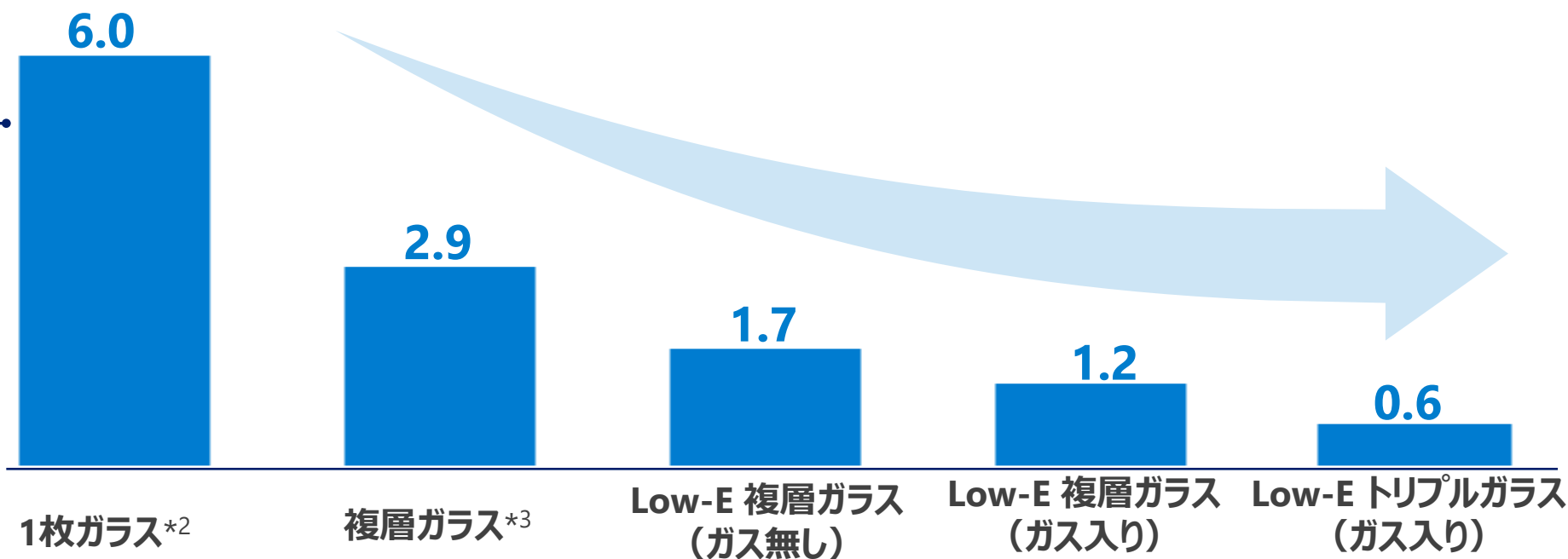
窓ガラスの断熱性能の進化

1980年～

現在

熱貫流率※
[W//m²・K]

※内外温度差1℃で1時間・
1㎡あたりに通過する熱量





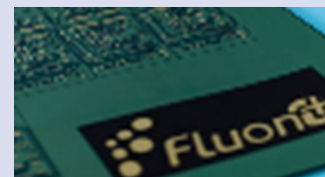
Innovation

革新的な未来社会の創造

世界最先端技術を支える素材・ソリューションを提供することで、革新的な未来社会の創造に貢献します。



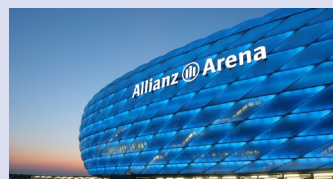
特殊ガラス（石英ガラス・レンズ 等）



エレクトロニクス

情報通信（半導体、光、
高速通信部材）

次世代
領域



パフォーマンスケミカルズ

機能化学製品（フッ素関連製品）



TFTディスプレイ用ガラス



モビリティ

モビリティ（ADAS/5G）

次世代
領域



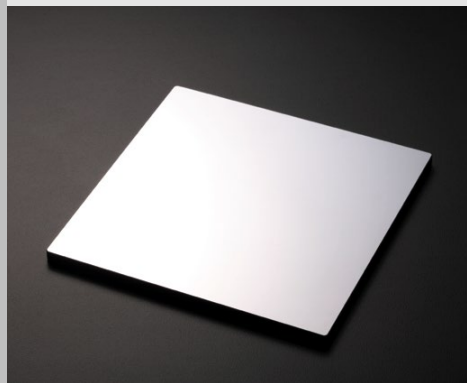
自動車用ガラス



事業展開

EUVブランクス

最先端露光に対応した高品質なフォトマスクブランクス



CMPスラリー

お客様のデザインルール、プロセスに対応した高品質のスラリー



合成石英ガラス

半導体プロセス用の高純度・高品質・高機能ガラス



銅張積層板

あらゆる回路、プリント配線基板の元になる材料



SiC熱処理治具

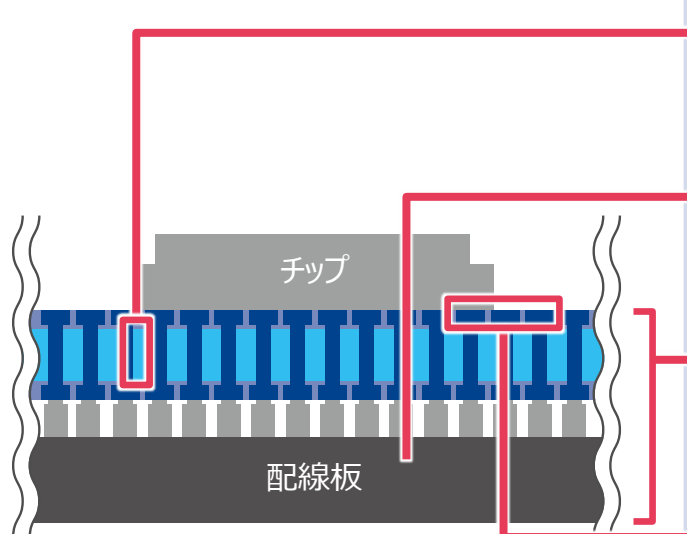
高純度・高強度・低熱膨張のセラミックス





次世代半導体パッケージ向けの素材・製品を開発中

次世代半導体パッケージ 断面図

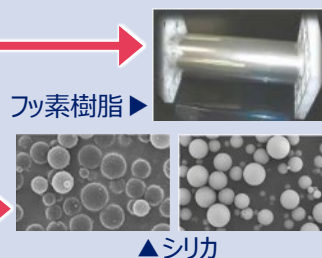


ガラスコア基板



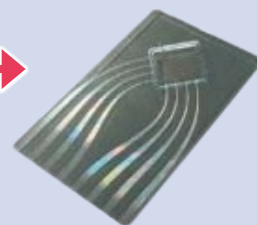
にチップへの信号の入出力や保護などの役割を担うパッケージ基板は、従来の樹脂素材から、剛性等に優れるガラス素材へ

シリカ・フッ素樹脂の活用



研究開発の蓄積があるシリカとフッ素樹脂を先端半導体向けに更に高機能化

光導波路

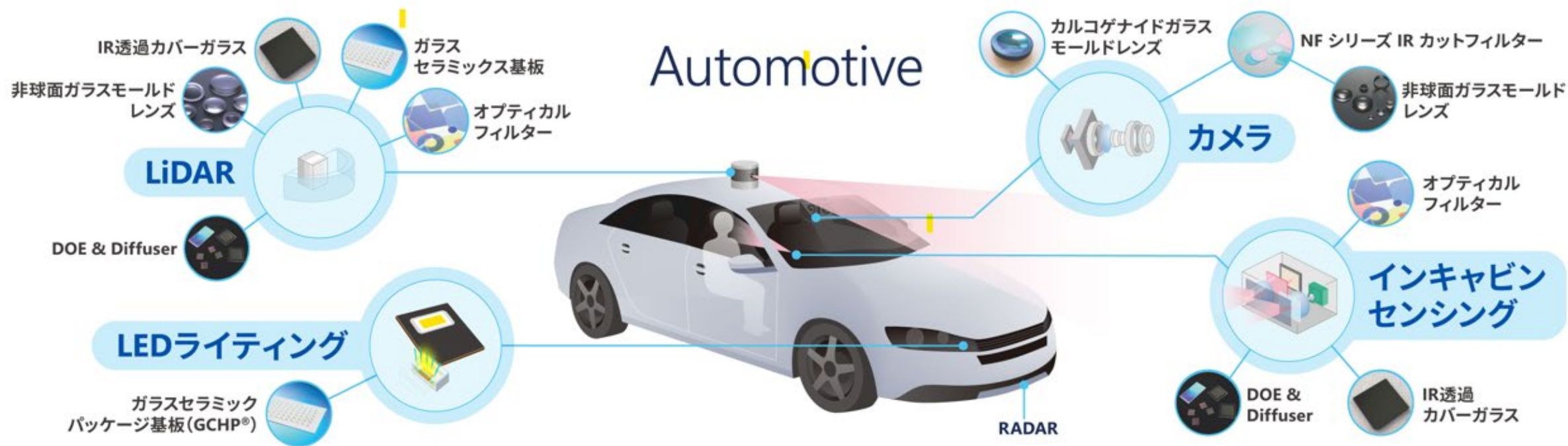


次世代半導体パッケージの注目技術の一つ。AGCの低損失材料を用いて開発中。データセンター等の高速通信やセンシング用途など多様な応用に期待



事業展開

ADAS、自動運転の普及に必要な光学部材の提供





パフォーマンスケミカルズ | 機能化学品

- グローバルトップシェアのフッ素製品を多く持つ
- 脱炭素社会やデジタル社会を実現するためには欠かせない素材

ETFE樹脂 (フッ素樹脂)

世界 **No.1***

主な用途：電線、チューブ、ライニング・コーティング材



ETFEフィルム

主な用途：膜建築物・エレクトロニクス用離形フィルム



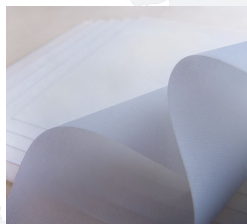
燃料電池用 フッ素系電解質 ポリマー

世界 **No.1**



クロアリ電解用 イオン交換膜

世界 **No.1**



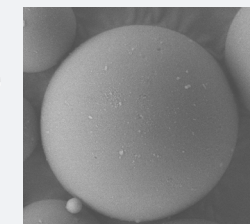
現場塗装塗料用 フッ素樹脂

世界 **No.1***



ファインシリカ

主な用途：化粧品、分析機器、電子材料、塗料

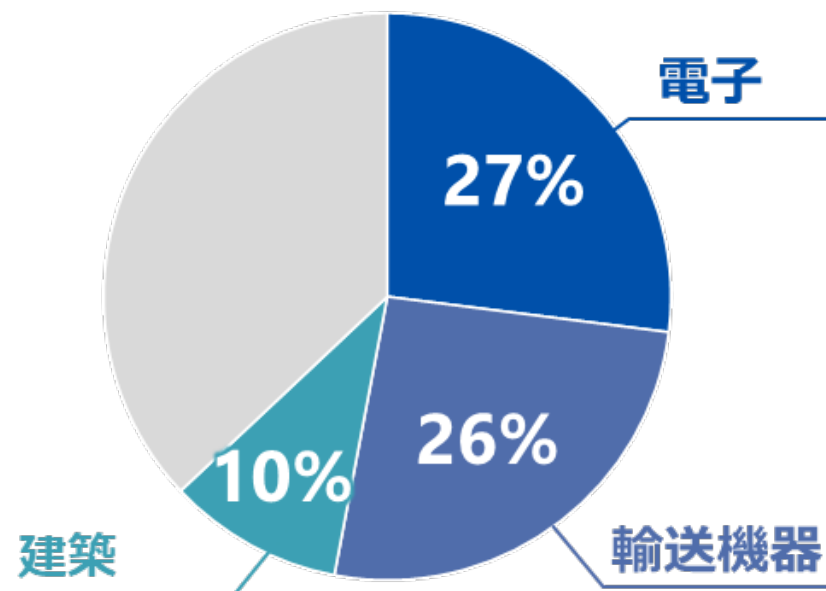




パフォーマンスケミカルズ | 需要分野

- フッ素製品の需要の約6割は、電子、自動車・航空機などの輸送機器、建築分野
- 残りは多様且つ特殊な分野の需要の積み上げから成り立っている

用途別売上高比率（2023年）



電子



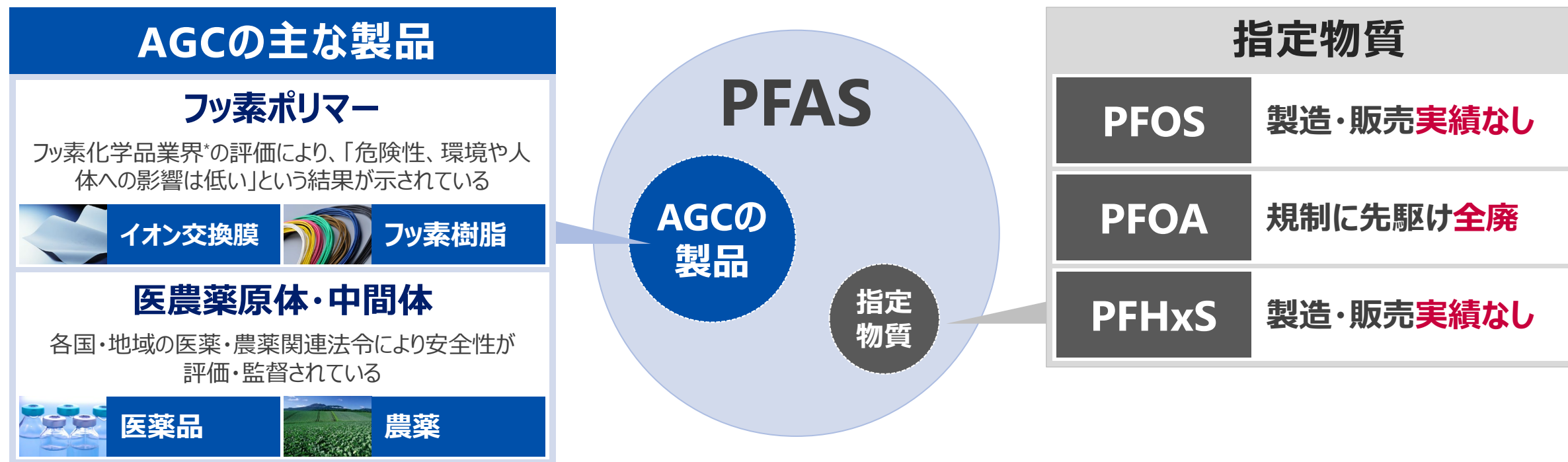
輸送機器



建築



- PFAS (約12,000種類のフッ素化合物の総称) のうち 3物質がストックホルム条約において残留性有機汚染物質に指定されており、現在AGCではいずれの当該指定物質も取り扱っていない
- AGCグループとして企業の社会的責任を果たすため、科学的根拠に基づき、事業活動で生じる環境負荷の最小化と製品を通じた環境課題の解決に向け取り組んでいる

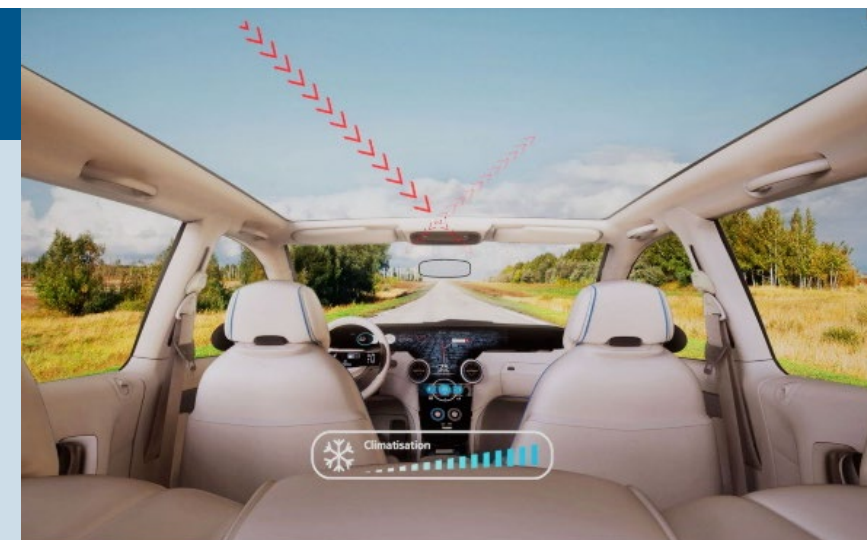




Low-E（断熱ガラス）

高い遮熱・断熱性で、エアコン負荷を低減し燃費向上

**快適性向上に加え、EVの航続距離延長、
CO₂排出削減にも貢献**

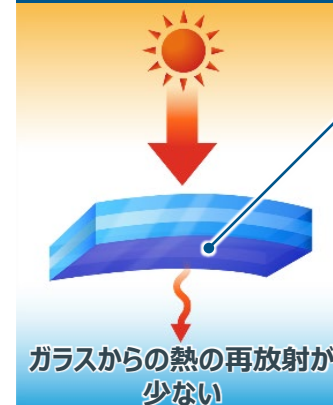


- AGCの材料技術、機能設計技術、生産技術を活かし、
車載用特殊Low-Eコートを開発
- **夏は日射熱を遮り**、涼しく快適な車内温度、
冬は車内の熱を外に逃しづらく、暖かく快適な車内温度を実現
- ルーフガラスに使用することで、**シェードレス設定が可能**となり、
車体の軽量化やヘッドクリアランスの確保にも寄与

採用事例

Low-Eコート付き調光パノラマルーフがトヨタ自動車株式会社
BEV専用モデル「Lexus RZ」に採用

夏は涼しく（遮熱）



特殊金属コーティング
温まったガラスの輻射熱を
約1/5にカット※

特殊金属コーティング
ガラスからの車外放熱を約
2/3に抑制※

冬は暖かく（断熱）



※AGC調べ



調光ガラス Digital Curtain®

EV化で需要拡大するパノラマサンルーフに、新たな価値を提供

快適性・開放感を更に向上、 先進的な車内空間を実現



- 2枚のガラスの間に特殊フィルムを挟み込み、電圧でコントロールすることで、「調光モード」と「透過モード」を**瞬時に切り替え可能**
- 「調光モード」では**日差しの暑さ・眩しさを和らげ**、「透過モード」では**開放感を楽しめる**

調光モード（スイッチオフの不透明な状態）



透過モード（スイッチオンクリアな状態）



採用事例

トヨタ自動車株式会社「新型ハリアー」

- 自動車用ガラス向けでは、**世界最速***の瞬時に透過光を制御
- 量産車に**世界で初めて採用**

※AGC調べ



Well-being

安心安全な暮らしへの貢献

生活やインフラ、医療に必要な製品をより安定的に提供することで、
安心・安全で快適・健康な暮らしに貢献します。



TFTディスプレイ用ガラス



自動車用ガラス



セラミックス（炉材）



ライフサイエンス

医農薬原体・中間体



次世代バイオ

次世代
領域



エッセンシャルケミカルズ

苛性ソーダ・塩ビ（産業・生活インフラ）



建築用ガラス



- 産業・生活インフラを支える製品を展開
- タイのプラント増強により、需要が旺盛な東南アジアでのシェアが更に拡大

製品の使用例

苛性ソーダ

- パルプ・紙
- アルミの抽出
- 石鹼・洗剤
- 下水道中和



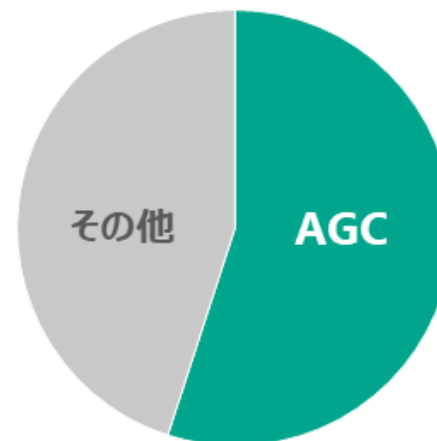
塩化ビニル樹脂

- 塩化ビニルパイプ
- 電線被覆
- 窓サッシ

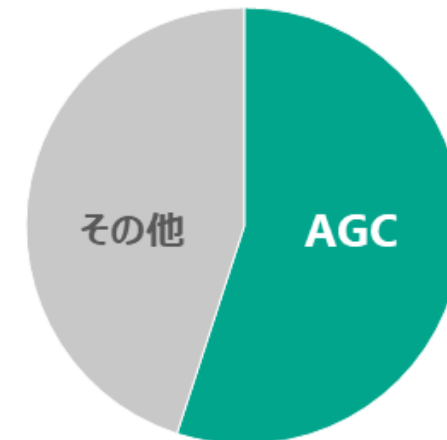


東南アジアにおけるシェア*（増設後）

苛性ソーダ



塩化ビニル樹脂



*生産能力ベースシェア
(苛性ソーダは域内に豪州／NZを含まず、塩ビは域内に豪州／NZを含む)



- 製薬メーカー・農薬メーカーより医薬品・農薬のプロセス開発や製造を受託
- 医薬品・農薬の開発・製造の分業傾向が追い風

医薬品・農薬のサプライチェーン



AGCのCDMO事業

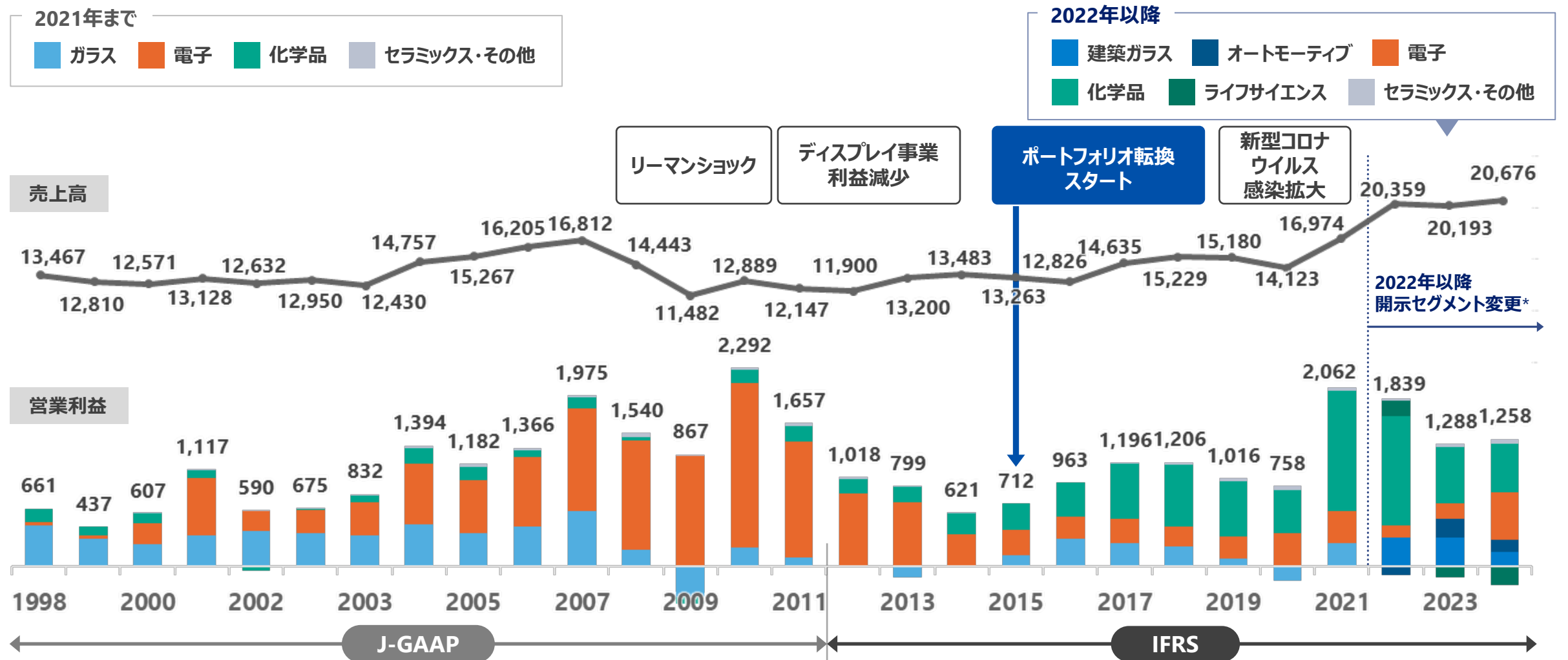
成長戦略

- 3つの社会的価値の創出を通じ、経済的価値の追求と企業価値の向上を図る
 -  持続可能な地球環境の実現
 -  革新的な未来社会の創造
 -  安心安全な暮らしへの貢献
- エレクトロニクスをはじめとする高成長分野において、将来の柱となる高収益事業を創出・拡大する

3. 業績および株主還元

売上高・営業利益構造の変化

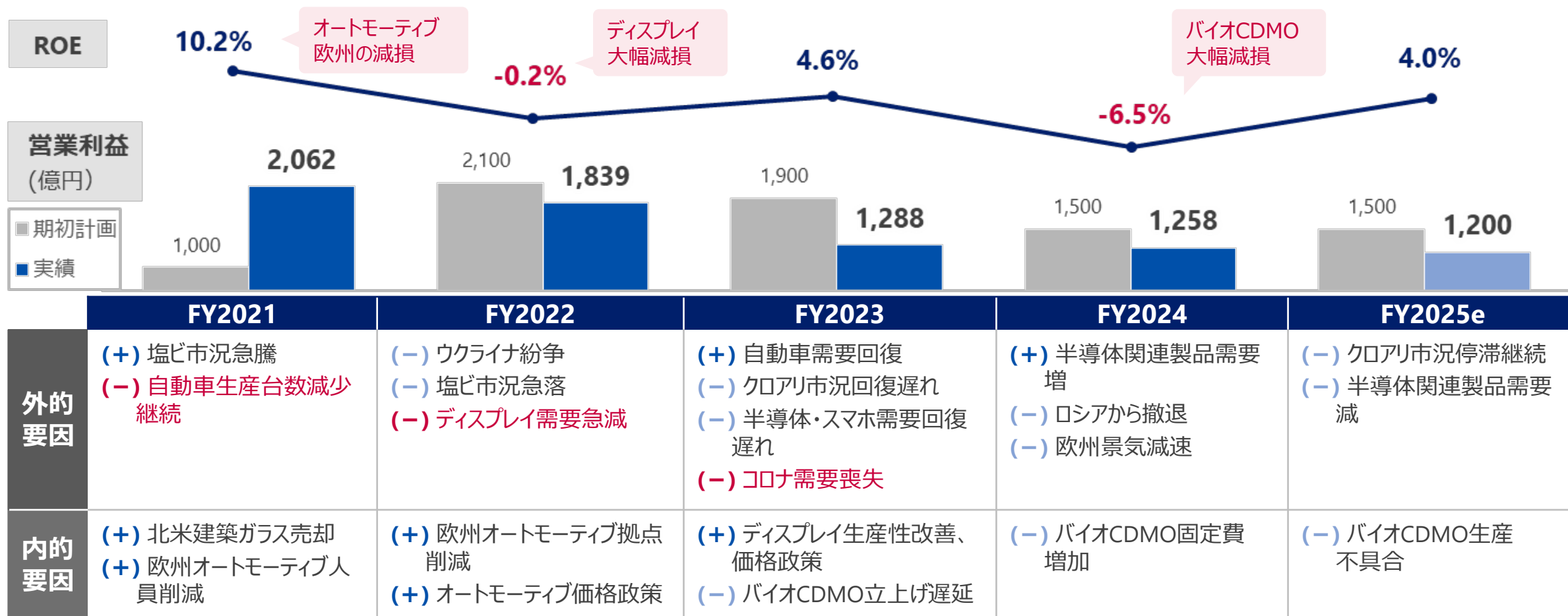
売上高・セグメント別営業利益推移 (億円)



* 2023年度より報告セグメントを変更したことに伴い、2022年以降は右記セグメントで開示

近年の業績

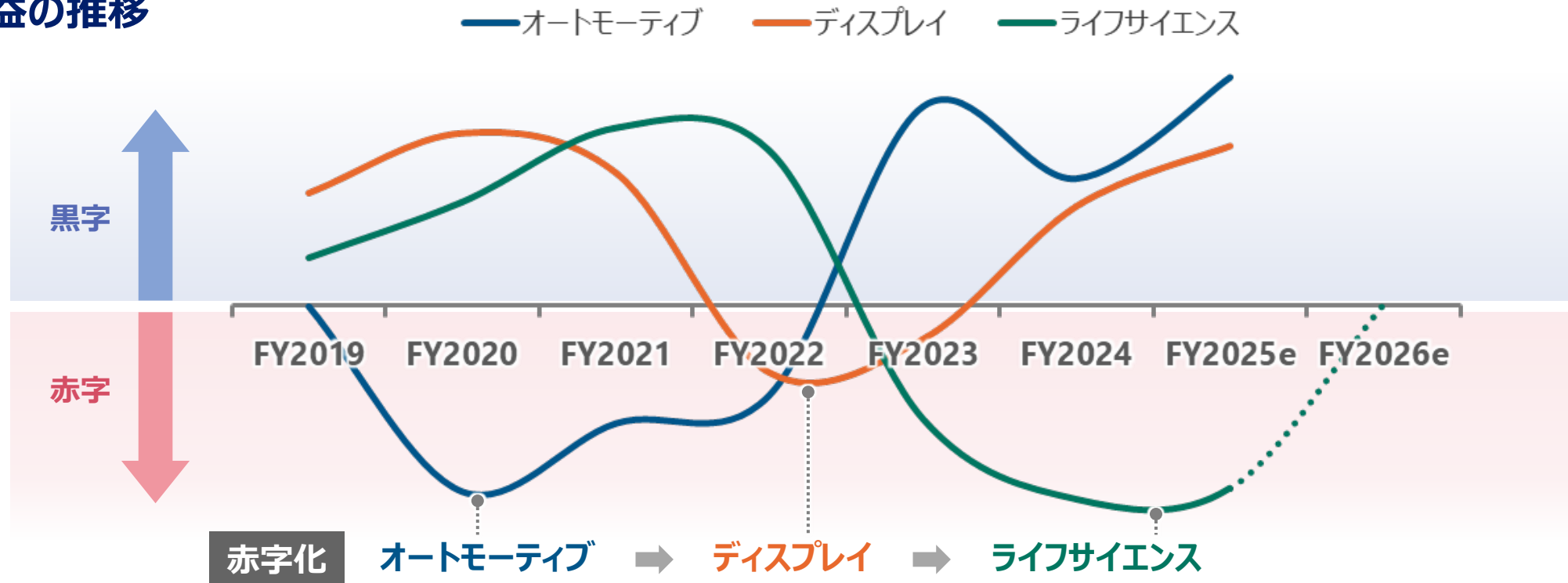
- 2022年以降、4期連続で営業利益は計画比下振れ、4期連続でROE5%未達の見通し
- 自助努力による回復事業がある一方で、バイオ医薬品CDMOの課題解決に苦戦



課題事業の回復状況

- オートモーティブ、ディスプレイは収益改善施策の着実な実行により2-3年程度で黒字化
- ライフサイエンスも、バイオ医薬品CDMOの事業構造改革とコスト削減施策により2026年黒字化を目指す

営業利益の推移



- “Volume to Value”（販売数量の拡大は志向せず、高機能・高付加価値の製品に注力）により収益改善が確実に進捗

オートモーティブの収益改善施策

1

価格政策

製品・サービスに見合う適正な価格水準を追求

2

事業構造改革

高効率設備導入を含めた徹底的な生産性向上

3

高機能・高付加価値化

CASEの拡大等に伴い、高付加価値品比率を向上

ディスプレイの収益改善施策

1

事業構造改革

大型ディスプレイ用ガラス基板への集中による生産性向上

2

価格政策

製品・サービスに見合う適正な価格水準を追求

3

技術革新による競争力強化

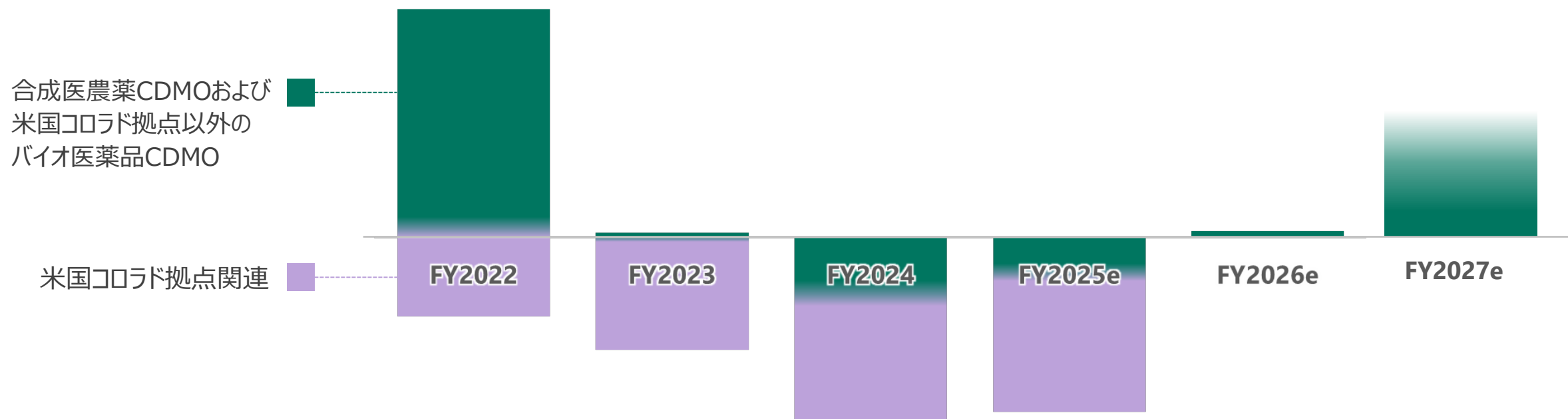
競争力ある新製品を上市

低ROCEの他の事業についても、事業環境・特性に応じた収益改善施策を実行

ライフサイエンスの収益改善施策 | 米国コロラド拠点から撤退

- ライフサイエンスの赤字の最大要因であるバイオ医薬品CDMOの米国コロラド拠点（ボルダー及びロングモント）から撤退し、事業譲渡の検討開始
- 2026年には当初計画どおり、ライフサイエンスセグメントの黒字化を目指す

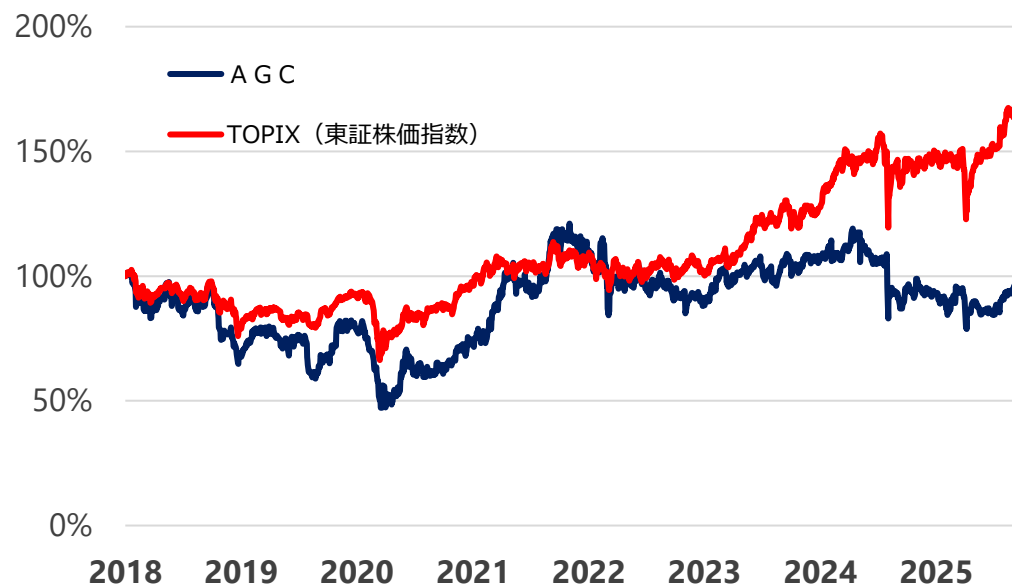
ライフサイエンスセグメントの営業利益見通し



(ご参考) 株価動向

TOPIX とAGC株価の相関

※2018年1月4日を起点に増減率を表示



※1: 株価配当利回り = $\frac{1株当たり配当金(2025年予想)}{2025/9/16株価(終値)}$

AGC 株価動向

(円)



**2025年
9月16日**

株価 : **4,752円**

株価配当利回り※1 : **4.41%**

2025年 通期業績見通し

- 親会社の所有者に帰属する当期純利益は、ロシア事業の譲渡に伴う関係会社株式の売却損およびバイオ医薬品CDMOの大規模減損損失の剥落等により前年比増益
- ROEは4%の見通しであり、早期の改善が必要

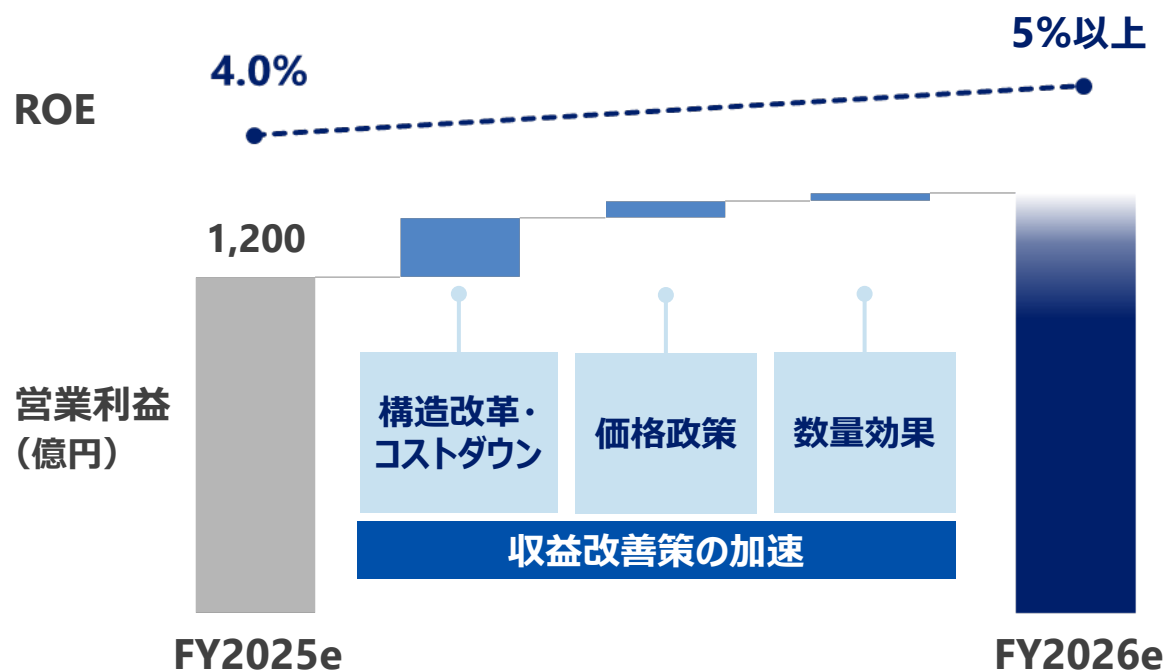
		(億円)		
		FY2024	FY2025e	増減
売上高		20,676	20,500	+ 176
	(上期)	10,152	9,955	+ 197
営業利益		1,258	1,200	+ 58
	(上期)	567	540	+ 27
税引前利益		▲ 501	970	+ 1,471
親会社の所有者に帰属する当期純利益		▲ 940	570	+ 1,510
		FY2024	FY2025e	
1株当たり配当 (円)		210	210	
営業利益率		6.1%	5.9%	
ROE		▲ 6.5%	4.0%*	
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 151.6	JPY 147.0	
	1 EUR	JPY 164.0	JPY 163.0	
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	79.6	74.0	

* FY2025予想のROEは、2024年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用

株主資本コストを上回る収益性の実現に向けて(1)

1

中期経営計画最終年度(2026年)にROE5%以上を必達とし、あらゆる収益改善策を加速



収益改善策の加速

構造改革・コストダウン

バイオ医薬品CDMO（コロラドからの撤退等）、グループ全体

価格政策

建築ガラス、オートモーティブ、ディスプレイ、エッセンシャルケミカルズ、パフォーマンスケミカルズ

数量効果

エッセンシャルケミカルズ（タイ増設効果）

2

- 2025年で大規模な能力拡大投資は一巡
- 新規投資は厳選

3

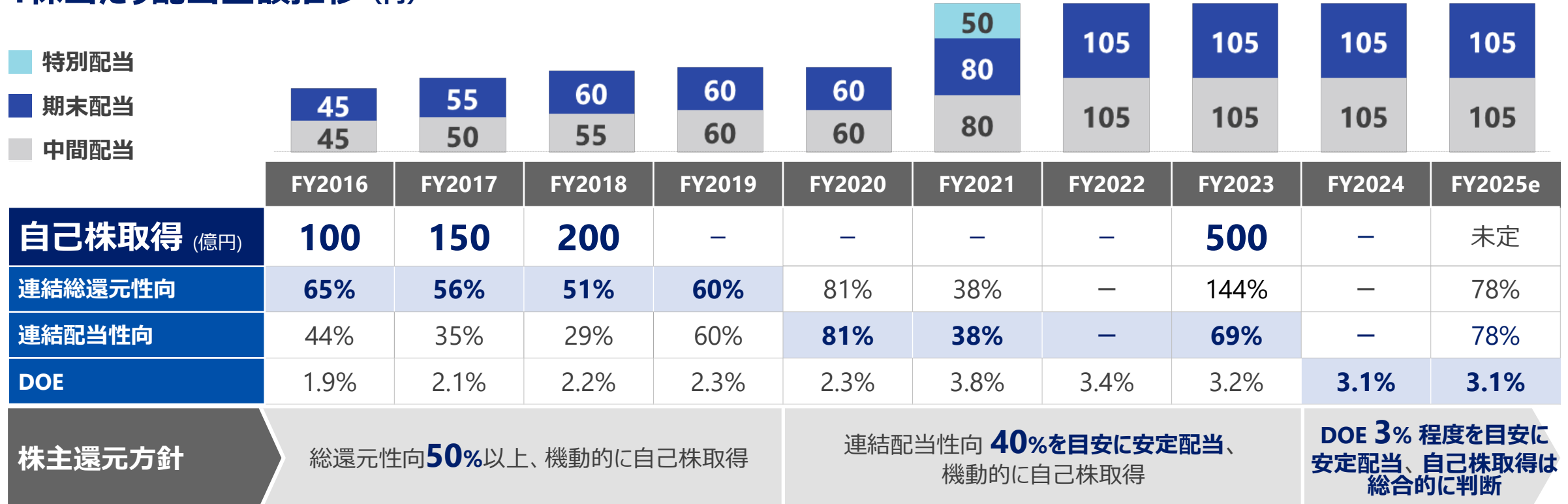
低ROCE事業の事業構造改革を加速し、事業ポートフォリオの変革推進



2027年以降早期にROE 8%以上の達成を目指す

- DOE *3%程度を目安に安定配当
- 2025年の一株当たり配当金額は2024年の水準を維持予定

1株当たり配当金額推移 (円)



課題事業の立て直しと業績回復

- 課題事業は、収益改善施策の着実な実行により2-3年程度で黒字化させてきた
- 近年はライフサイエンスの苦戦で業績悪化も、事業構造改革とコスト削減施策により回復の見通し
- 2027年以降早期にROE 8%以上の達成を目指す

安定した株主還元の継続

- DOE *3%程度を目安に安定配当する株主還元方針

AGCブランド ステートメント

易きになじまず難きにつく
人を信ずる心が人を動かす
世界に冠たる自社技術の確立を
開発成功の鍵は使命感にあり

AGCは、この創業の精神を礎に、
お客様とゆるぎない信頼関係を築きながら、
独自の素材とソリューションで、
時代のトップランナー達を支えてきました。

私たちはこれからも、互いの知見や技術を掛け合わせ、
人々の想いの先、夢の実現に挑んでいきます。

Your Dreams, Our Challenge

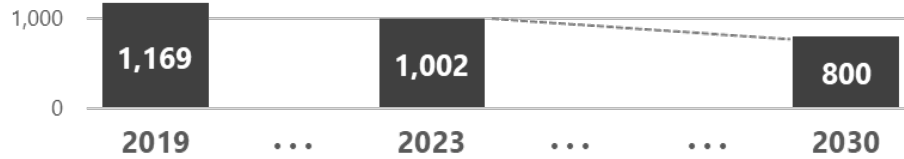


4. 参考情報

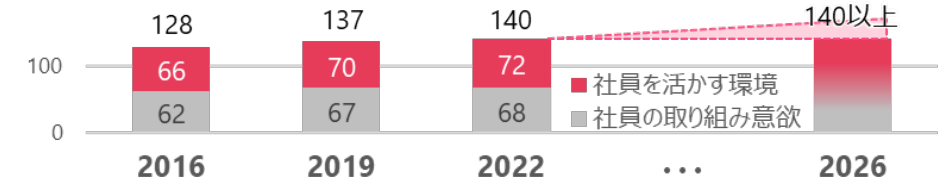
■ 事業活動を通じたサステナビリティKPIの向上により、持続的な成長を実現する

サステナビリティ KPI

GHG(Scope1+2)排出量[万トン]*1

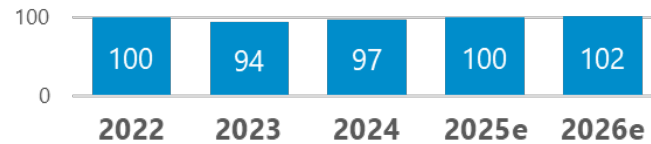


従業員エンゲージメントスコア*1

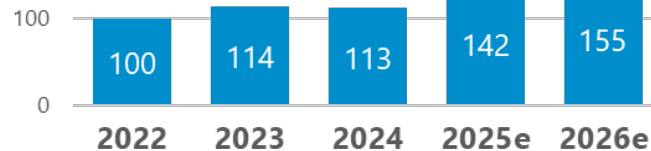


Blue planet

建築用GHG削減貢献製品
出荷数量 指数*2

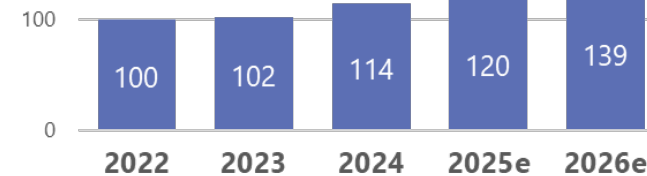


化学品低GWP製品 GHG排出削減貢献
指数*2



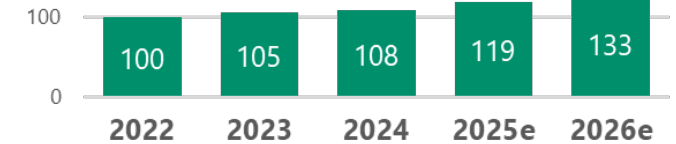
Innovation

次世代型社会への貢献（エレクトロニクス、
モビリティ、パフォーマンスケミカルズ）
合計売上高 指数*2

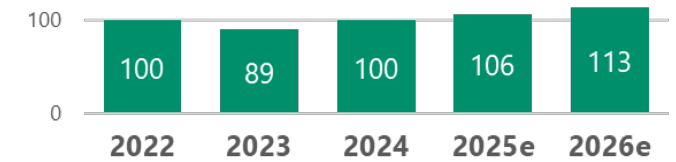


Well-being

新興国社会インフラ整備貢献製品（クロール
アルカリ主製品） 出荷数量指数*2



ライフサイエンス売上高 指数*2



カーボン・ネットゼロ目標（2050年）

- 2021年に中長期のGHG削減目標を策定し、着実に推進



2030年
マイルストーン
(2019年比)

Scope 1

GHG排出量 (Scope 1+2排出量)

30% 削減

Scope 2

GHG排出量売上高原単位 (Scope 1+2排出量／売上高)

50% 削減

Scope 3

GHG排出量 (Scope 3排出量のうち、カテゴリ1、10、11、12の合計)

30% 削減

人財のAGC

- 風通しの良さ・チャレンジ・主体性を重視する企業文化をより一層醸成・浸透させ、多様な人財の強み・個性を引き出し、主体的な学びと成長を支援する
- 成長する個々人からなるエンゲージメントの高い組織が、社内外の連携も活用して、知の化学反応と現場力の強化を促進し、企業価値を向上させる



- 特に日本の社会課題となっているジェンダー関連では、女性活躍にかかわる目標を設定し、着実に推進

女性活躍に関する2030年目標

女性役員比率

30%

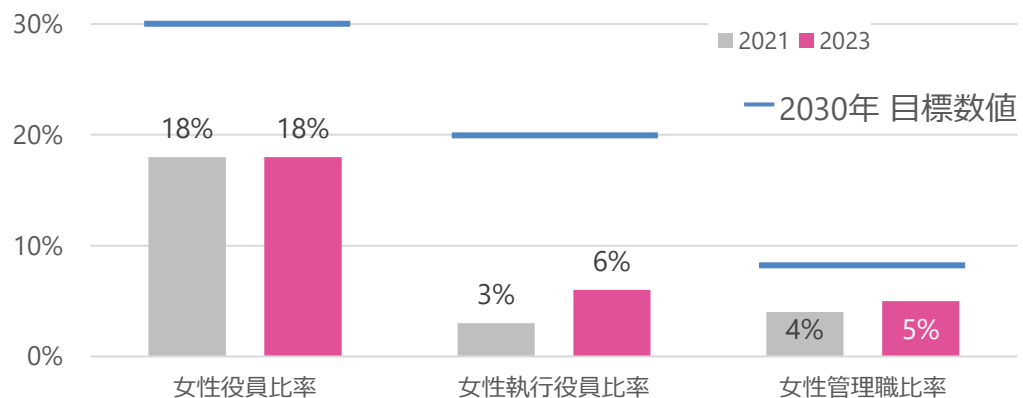
女性執行役員比率

20%

女性管理職比率*

8%

進捗状況



女性活躍推進* 取り組み例

- 2022年に採用における女性比率目標の引き上げ

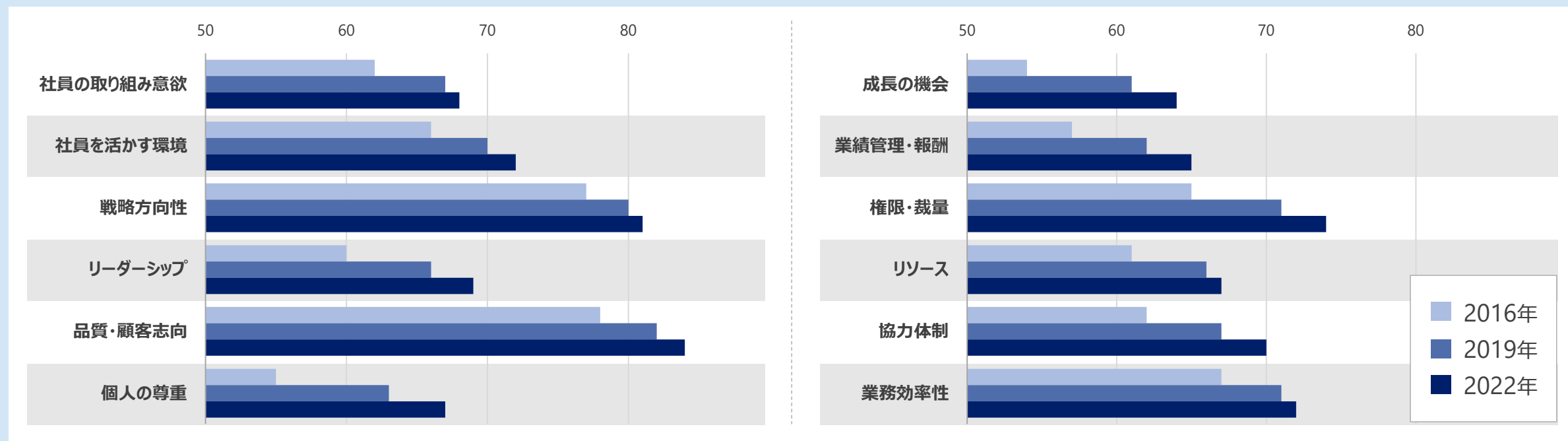
	従来	現在
新卒	20%	30%
キャリア	10%	15%

- ダイバーシティ研修、アンコンシャスバイアス研修の実施
- 個別育成計画にもとづく育成プログラムの実施
 - 女性部長級への役員メンター制度
 - 社外女性役員との対話会
 - ポテンシャル人財の社外女性リーダー育成プログラム参加 など

従業員エンゲージメント | 更なる向上を目指す

- 競争優位性の維持・向上に従業員エンゲージメントは不可欠
- 2019年エンゲージメント調査に続き2022年も全ての項目でエンゲージメントスコアが改善
- 2030年までにグローバル好業績企業平均と同等のエンゲージメントスコア達成を目指す

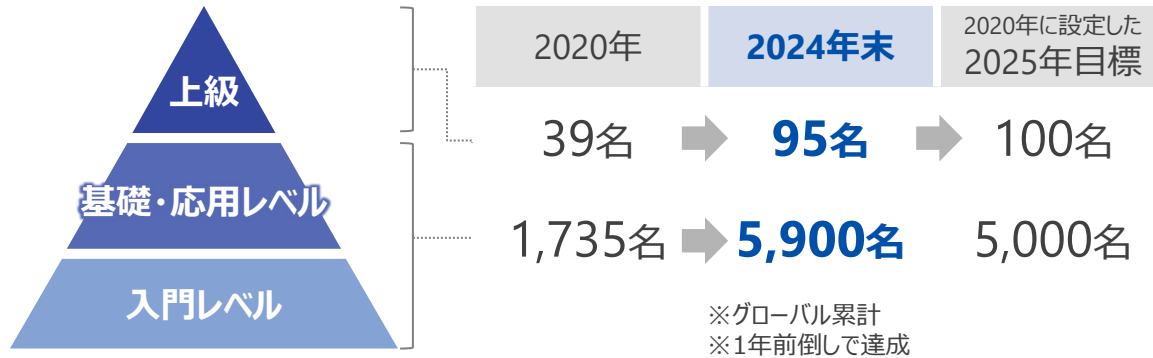
エンゲージメント調査*結果の推移



価値創造DXの推進

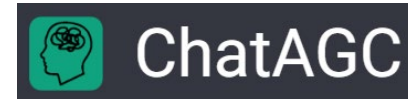


デジタル人財育成 (データサイエンティスト)



業務改革・効率化

(独自生成AI基盤ChatAGC)



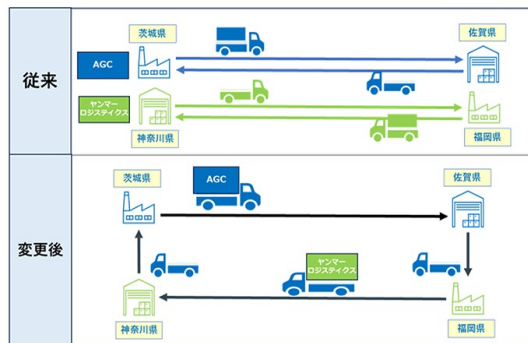
RAG (検索拡張生成) 機能を追加
してグローバル活用

業務削減：約11万時間 (2024年推計)



社会への価値提供 (物流DXの事例)

複数の企業と連携し、物流危機に対応する**共同輸送の取組み**を開始



お客様への価値提供

びんガラス製造窯向けに、AGCのデジタル技術と製造ノウハウを基にした支援サービスを開始



DX銘柄に選定

(4年連続5回目)



DX銘柄2022
Digital Transformation



DX銘柄2023
Digital Transformation



DX銘柄2024
Digital Transformation



DX銘柄2025
Digital Transformation

社外からの評価

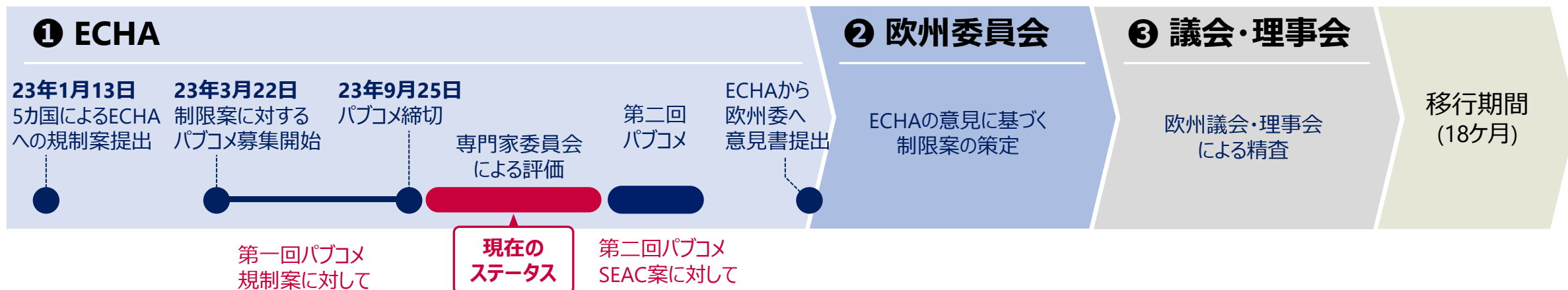
 FTSE4Good	FTSE4Good Index Series に選定
 FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Index に選定
 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index に選定
	S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に選定
	CDP「気候変動」 「気候変動」および「水セキュリティ」でBに認定

 SCIENCE BASED TARGETS DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION	SBTi 温室効果ガス削減目標 「WB2°C」認定取得
 NIKKEI Smart Work ★★★★ 2025	「日経サステナブル総合調査 スマートワーク経営編」4星に認定
 ecovadis Sustainability Rating NOV 2024 ecovadis Sustainability Rating OCT 2024 ecovadis Sustainability Rating JUL 2024	EcoVadisサステナビリティ評価で 高評価 を取得
 2025 Sompo Sustainability Index	SOMPOサステナビリティ・インデックス に選定
 DX銘柄2025 Digital Transformation	DX銘柄2025 に選定

- 現在規制案についてECHA(欧州化学品庁)の専門委員会が検討中
- 多くのパブリックコメント (パブコメ) が寄せられ、ECHAの専門家委員会による法案の評価プロセスに時間を要しており、第二回のパブコメ募集時期および、その後の規制スケジュールは不透明
- AGCグループも第一回のパブリックコメントを提出した

欧州における 規制検討プロセスの流れ

- ① ECHAによる2回のパブコメを経て、専門家委員会が最終意見を作成/提出
- ② 欧州委員会は提出された最終意見を基に法案作成、加盟国で構成のREACH委員会で審議/採択
- ③ 採択された法案は欧州議会・理事会による精査を経て発効



AGCグループに関する情報について

AGCグループに関する、プレスリリース、製品・サービス、株主・投資家情報、会社情報等については、当社の公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.agc.com/>



株主・投資家情報のコーナーでは、「個人投資家の皆様へ」というコーナーを設けており、AGCグループの経営戦略、事業内容等について、より分かりやすくご説明しています。

<https://www.agc.com/ir/individual/index.html>



投資家向けニュースメール配信サービスのご紹介

「株主・投資家情報」→「投資家向けニュースメール配信」からメールアドレスをご登録ください。適時開示情報など最新のIR情報を配信します。

AGCグループに関する情報について

- AGCグループ公式ホームページの「株主・投資家情報」をクリックいただくと、当社の各種説明会資料、統合レポートや動画をご確認いただけます





Your Dreams, Our Challenge

END

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。